

2022年2月18日（金）に開催された第9回理事会（臨時）の概要をお知らせします。

### <決議事項>

#### ●評議員選定委員会の設置及び委員の選任について

2022年6月開催の定時評議員会終結の時をもって、現評議員25名の任期（4年）が満了となる。次期評議員を選任するため、定款に従い評議員選定委員会の設置と委員5名（評議員、監事、事務局職員、外部委員2名）の選任が行われた。

#### ●臨時評議員会の開催及び目的事項について

2021年度臨時評議員会を次の日時に開催するものとし、その目的事項（議題）として、以下の決議事項1件及び報告事項3件とすることを提案する。

1. 日 時： 2022年3月18日（金）15:00～17:00
2. 場 所： JVA会議室を開催場所とするWEB会議
3. 決議事項：(1) 理事候補者の選任について
4. 報告事項：(1) 第12期（2021年度）収支予測について  
(2) 第13期（2022年度）JVA基本方針および事業計画について  
(3) 第13期（2022年度）予算について

#### ●JOCハイパフォーマンスディレクターの選任について

JOC 役職	氏名	JVA での役職
ハイパフォーマンス ディレクター	矢島 久徳	ハイパフォーマンス事業本部長

コーチ等設置事業の目的は「オリンピック競技大会でメダル獲得が期待できる JOC 加盟の競技団体及び JOC に、選手強化等の事業を計画的かつ継続的に行うコーチやスタッフ等を設置し、国際競技力の向上を図る」こと。旧ナショナルコーチが新たにハイパフォーマンスディレクターとして、競技団体に必ず1名のみ設置することとなり、中長期的な強化戦略プランを計画・立案・策定するなど、競技団体強化責任者として強化活動全体を統括することが任務となる。

#### ●評議員の選定に関するガイドラインの改定について

1月13日定例理事会で決議したガイドラインの内容について、1月14日評議員懇談会で経緯を説明し、2月15日臨時評議員会にて提案のとおり承認されたため、正式に改定を行いたい。

なお、評議員からは人数目安については「女性候補を推薦することが難しい」、「人数目安を示したが、推薦要領にあるような方を選ぶべき」などもご意見をいただいた。今後の課題として

ガイドラインは随時見直していきたい。

2022年6月の評議員改選に向けて、これから改定された本ガイドライン趣旨に基づき、評議員および理事から次期評議員候補者の推薦をいただく事になる。

### 評議員の選定に関するガイドライン（案）変更点抜粋

（目的）

第1条 本ガイドラインは、評議員会、理事会が評議員選定委員会（以下「選定委員会」という）に評議員候補者（以下「候補者」という）を推薦し、選定委員会が候補者を選定する際の指針として機能することを目的とする。

（候補者の選定）

第6条 候補者リストから選定する場合は、次の各号に掲げる人数を目安として選定する。

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| （1）都道府県協会からの推薦候補者 | 14名（うち女性は4名以上） |
| （2）全国連盟からの推薦候補者   | 4名（うち女性は2名以上）  |
| （3）外部評議員の候補者      | 7名（うち女性は4名以上）  |

（補足）

第7条 評議員の欠員補充が必要となり、選定委員会において候補者の選定を行う場合においても、このガイドラインの趣旨を準用し選定作業を行うものとする。

（本ガイドラインの変更）

第8条 このガイドラインは、評議員が会議を招集し、その出席者の過半数の賛成を得て、理事会の決議により改廃することが出来る。

（附則）

- 1 このガイドラインは、2018年6月13日から施行する。
- 2 このガイドラインは、2022年1月13日から施行する。

### <報告事項>

#### ●新体制検討委員会の中間報告について

ここまで4回の検討委員会を開催し、第三者委員会の指摘や人事ヒアリングの報告などを基に検討している。外部ヒアリングは他競技団体（サッカー、ハンドボール、バスケット）や、会長辞任の報告に訪問した際にJOC、JSP0から指導・助言をいただいている。個人的なネットワークがあるメンバーは他団体にも助言をもらっている。一度に解決できるわけではないが、以下のようなことを意識して会長・理事候補者選んでいく必要性を検討委員会内で共有して議論を行った

■ 第三者委員会指摘事項

- ・ コンプライアンス・内部統制の仕組みの立て直し
- ・ JVA 各種業務の見直し
- ・ JVA 組織体制・人事制度上の課題

■ JVA 組織内課題（現場ヒアリングによるコンサル分析）

- ・ コミュニケーション/人間関係
- ・ 協会ビジョンとその実現状況
- ・ 現場の運営実態
- ・ 評価・処遇/育成計画

■ 会長に求められる資質、キーワード

- ・ 可視化できるものとできないもの
- ・ 属性（年齢、現職等）
- ・ 期待される能力
- ・ 優先順位（今この時期に重要なこと）

■ JVA の組織体制構築に必要な視点

- ・ 国際加盟・上部団体との関係再構築の重要性
- ・ JVA 加盟団体との信頼関係
- ・ 業務執行理事会の機能不全
- ・ 財政基盤の行き詰まり（スポンサーとの関係）

現在では、推薦等により名前が挙げられた各候補者をリスト（年齢・属性、バレーボールに対する情熱、リーダーシップ力、内外団体・組織との関係性等の項目）に基づき検討を進めており、3月17日に開催される理事会に理事候補者として提案するための人選を行っている。

以上